

南九州大学 アクティブラーニング研修

2017年9月19日(火)

八木亜紀子

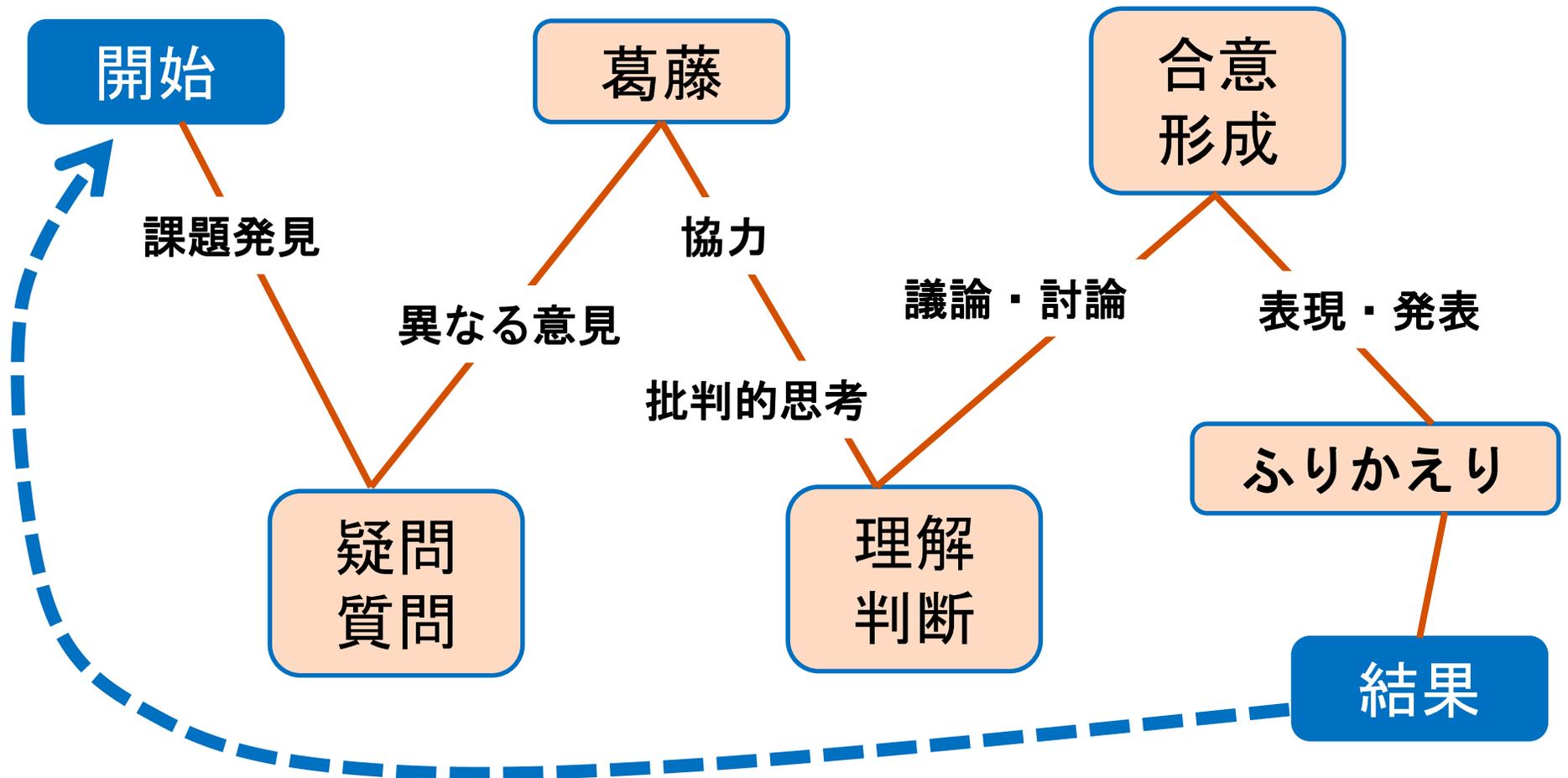


今日やったこと

1. 参加のルール
2. 部屋の四隅
3. 自己紹介
4. ブレインストーミング
5. 3人組で話す(バズ・セッション)

答えの無い問い×グループワーク×共有×発表

プロセス(過程)から学ぶ



key word

学習の目標と
学習の手法
学習のプロセスは
一致していますか？



図 2-1 実践者からの言葉…

(出所：D.セルビー, G.パイク著『子どもの権利教育マニユアル—グローバルな活動事例と日本の実践報告』)

key word

“learning about, learning for, learning in /through”

何について、何のために、何を通して学ぶのか

(D.セルビー、G. パイク)

“The medium is the message”

方法はメッセージである

(マーシャル・マクルーハン)

あらためて…

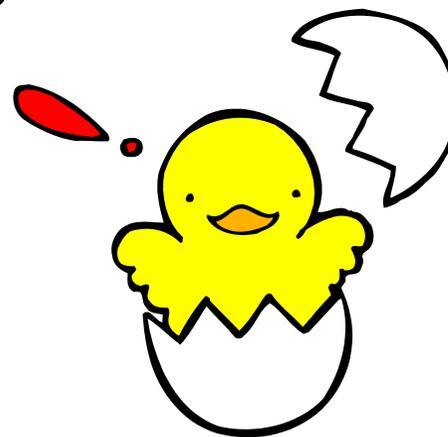
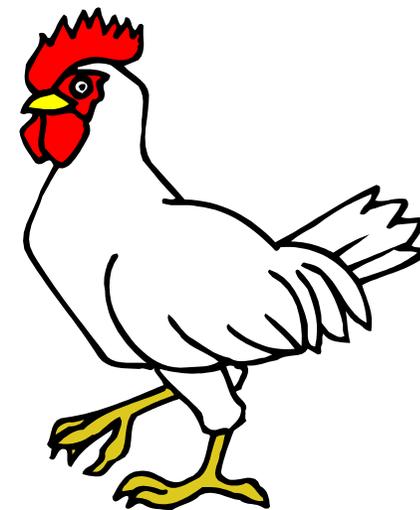
- なんのためのAL？
- ALを通して、学生にどんなチカラをつけてほしい？
- 学生にはどんな市民(大人)になってほしい？

AL実践のヒント

- 全ての授業で行う必要はない。
- 講義型授業の中にも5分だけでも導入できる。
- 授業以外でも活用できる。
- 学生から意見・提案・疑問・質問を引き出し、授業につなげる。→ルールを守るだけでなく、みんなにとって大切なルールを協力してつくり・提案できる人を育てる。
- 多様な視点を用意する。
- 学生の変容を受け止め、先生も変容する。

教師（ファシリテーター）の役割

- やさしくあたためる
- 時機を見計らって上手につつく
- 信じて待つ！
- 変化は内側から起こる



ふりかえり

3人1組で

今日の研修をふりかえってみましょう

ありがとうございました

所在地:

〒112-0002 東京都文京区小石川2-17-41

富坂キリスト教センター2号館3階

Tel: 03-5844-3630 Fax: 03-3818-5940

<http://www.dear.or.jp/>

開所時間: 平日10:00~18:00

事業主任: 八木亜紀子

✉ yagi@dear.or.jp

